

公 表 日

平成29年 5月29日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成29年度 雲仙岳大規模土砂災害危機管理計画検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 雲仙復興事務所長 植野 利康 長崎県島原市南下川尻町7-4
契約年月日	平成29年 5月29日
契約業者名	(一財) 砂防フロンティア整備推進機構
契約業者の住所	東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館 別館 6階
契約金額	27,637,200円(税込み)
予定価格	28,414,800円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	長崎県島原市
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	平成29年 5月30日
履行期間(至)	平成30年 2月28日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 平成29年度 雲仙岳大規模土砂災害危機管理計画検討業務
2. 履行場所 長崎県島原市
3. 契約の相手方 住所：東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館
会社名：一般財団法人 砂防フロンティア整備推進機構
電話：(03)5216-5871
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

- 1) 当該業務の目的

本業務は、島原半島において起こり得る大規模土砂災害（溶岩ドーム崩壊を含む）に迅速かつ的確に対応するための行動計画を作成し、雲仙復興事務所と関係機関との連携強化を図ることを目的とする。

- 2) 業務の内容

主な業務内容は下記のとおりである。

- (1) 大規模土砂災害を想定した合同防災訓練の開催補助
- (2) 溶岩ドーム崩壊ソフト対策会議の開催補助
- (3) 地域防災力向上に向けた検討
- (4) 調査業務における現地調査安全対策マニュアルの検討

- 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を27者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する1者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に特定テーマの「第6回 雲仙・普賢岳溶岩ドーム崩壊ソフト対策検討委員会からの提言に対する具体的処理方法について」に対する技術提案において「的確性」について、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

雲仙復興事務所 調査課長